

課題	対象地域の商店街の市場競争率低下及び、店主・顧客共に高齢化などの原因により空き家店舗率は、7割。地域コミュニティ消滅の危機。小商いが盛んな地域だが、事業者の実力依存する形でサポート体制が乏しく、新規参入ハードルが高い。
目的	事業主体者の建築、不動産、デザイン、地域連携に関する専門的な強みを活かして、空き家改修と小商いの事業者のマッチングコーディネート事業を行い、空き家単体ではなくエリアリノベーション事業へと展開する。
取組内容	対象地域で活動する3団体(い鉄ボックス・マチノイト・いすみ古材研究所)を中心に事務局(COMMONS ISUMI)を設置。地域の空き家状況を調査(創造系不動産による)・把握し、定期イベントや空き家ツアーを開催。集客基盤を作った上で、チャレンジショップを実施する。
成果	空き家を活用した物件3箇所を使用し、商店街全体に開かれたイベントを実施し、内外のプレーヤー・来場者を巻き込みながら地域の関係人口を増やすことに成功。地盤を整えた上でチャレンジショップを実施し、イベント開催時に希望者に空き家を活かして出店してもらう仕組みを構築。

地域の課題	実践	情報拡散	成果
-------	----	------	----

